



OKAYAMA  
UNIVERSITY

2016

# 財務報告書

Financial Report

---

平成27事業年度  
平成27年4月1日～平成28年3月31日

---

岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

# 目 次

■ はじめに	.....	1
<hr/>		
■ 財務ハイライト		
<hr/>		
貸借対照表の概要	.....	2
損益計算書の概要	.....	3
■ トピックス	.....	4
<hr/>		
■ 岡山大学を支えてくださるみなさまへ		
<hr/>		
在学生・受験生及び保護者のみなさまへ	.....	7
大学病院をご利用のみなさまへ	.....	8
企業等のみなさまへ	.....	9
教職員のみなさまへ	.....	11
■ 財務諸表等		
<hr/>		
貸借対照表	.....	13
損益計算書	.....	15
キャッシュ・フロー計算書	.....	16
国立大学法人等業務実施コスト計算書	.....	17
決算報告書	.....	18
財務諸表の連携図	.....	19
■ 学部等位置図	.....	20
<hr/>		

## 平成27事業年度財務報告について

国立大学法人は、国民その他の利害関係者に対し、財政状態や運営状況に関する説明責任を果たし、自己の状況を客観的に把握する観点から財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類、キャッシュ・フロー計算書、国立大学法人等業務実施コスト計算書、附属明細書）の作成を義務付けられています。

本学の平成27事業年度の財務諸表等につきましては、ホームページ上に掲載しておりますが、本報告書は岡山大学を支えてくださる多くの皆様に、本学の財務状況等についてわかりやすくお伝えすることを目的に作成いたしました。

本報告書が、皆様にとりまして本学の状況を少しでもご理解いただく一助となることを願っております。

### 〔国立大学法人会計の仕組み〕

国立大学法人は、企業会計原則を基礎とし、国立大学等の特性を踏まえ必要な修正を行った上で設定された国立大学法人会計基準に基づき会計処理を行っており、その主な特徴は以下のとおりです。

国立大学法人は、附属病院収入等の事業収入はあるものの企業とは異なり独立採算を前提としておらず、運営財源の大部分は運営費交付金、授業料等の学生納付金で賄われています。このような状況から国立大学法人会計基準は、官庁会計における財政法・会計法の視点を取り入れ、「財源」を踏まえた上での会計処理を定めています。

例えば、固定資産等を取得する場合、企業会計ではその取得財源（借入金、資本金等）が何かということは会計処理上は関係なく処理されますが、国立大学法人では、その取得財源により会計処理方法に影響が生じます。引当金の計上についても、必要な費用について国から財源の手当を受けているかどうかにより会計処理方法が変わってきます。

また、国立大学法人会計基準特有の会計処理として、通常の運営を行ったならば損益が均衡するような仕組みを採用しています。

## 貸借対照表の概要

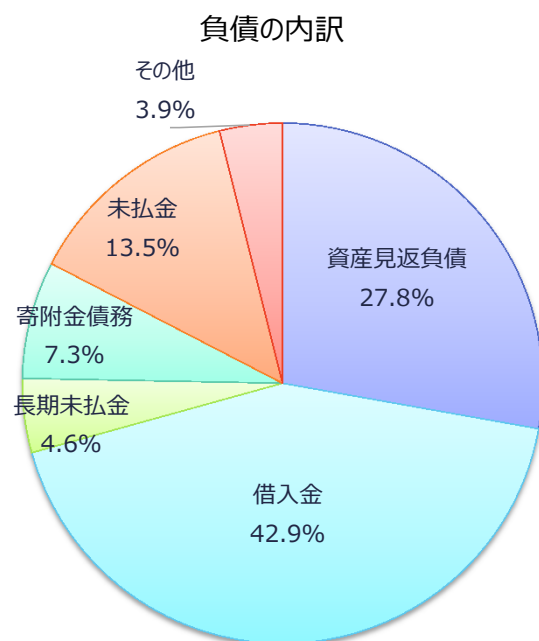
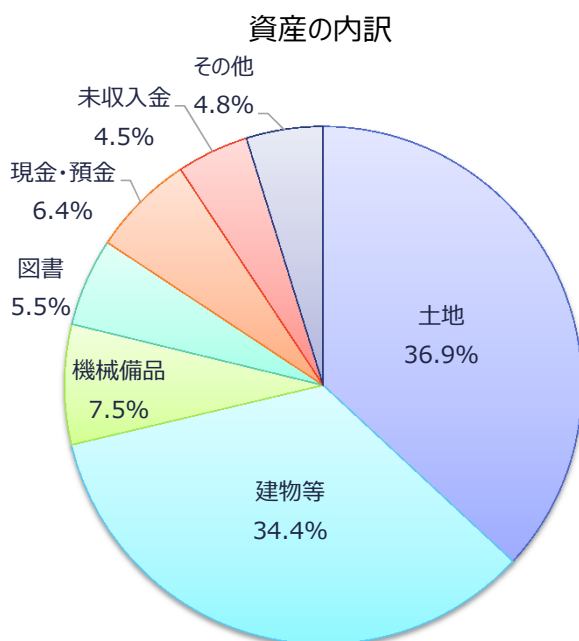
科 目	平成26年度	平成27年度	増減額
<b>資産の部</b>			
<b>(固定資産)</b>			
土地	52,050	52,050	0
建物等	50,281	48,641	△ 1,640
機械備品	12,682	10,628	△ 2,054
図書	7,733	7,704	△ 29
建設仮勘定	1,489	3,200	1,711
投資有価証券	1,112	1,312	200
その他	945	907	△ 38
<b>(流動資産)</b>			
現金・預金	5,909	9,077	3,168
未収入金	6,130	6,341	211
有価証券	2,000	1,100	△ 900
その他	300	282	△ 18
<b>資産合計</b>	<b>140,635</b>	<b>141,247</b>	<b>612</b>

(単位：百万円)

科 目	平成26年度	平成27年度	増減額
<b>負債の部</b>			
<b>(固定負債)</b>			
資産見返負債	17,343	16,105	△ 1,238
借入金	22,116	22,761	645
長期未払金	3,123	2,701	△ 422
その他	359	370	11
<b>(流動負債)</b>			
運営費交付金債務	473	—	△ 473
寄附金債務	4,060	4,220	160
借入金	2,159	2,116	△ 43
未払金	6,227	7,809	1,582
その他	1,641	1,892	251
<b>負債合計</b>	<b>57,505</b>	<b>57,977</b>	<b>472</b>
<b>純資産の部</b>			
資本金	69,804	69,804	0
資本剰余金	7,825	7,270	△ 555
利益剰余金	5,498	6,194	696
<b>純資産合計</b>	<b>83,129</b>	<b>83,269</b>	<b>140</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>140,635</b>	<b>141,247</b>	<b>612</b>

※本学の平成28年3月31日現在の貸借対照表です。

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。



## 損益計算書の概要

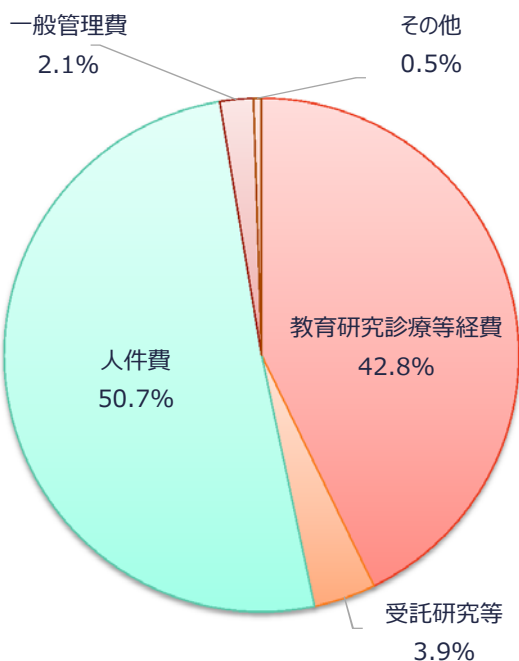
科 目	平成26年度	平成27年度	増減額
<b>経常費用</b>			
教育研究診療等経費	28,642	28,919	277
受託研究等	2,639	2,618	△ 21
人件費	32,576	34,258	1,682
一般管理費	1,320	1,445	125
その他	401	369	△ 32
経常費用計	65,581	67,611	2,030
<b>臨時損失</b>			
	424	99	△ 325
<b>当期総利益</b>			
	579	870	291

(単位：百万円)

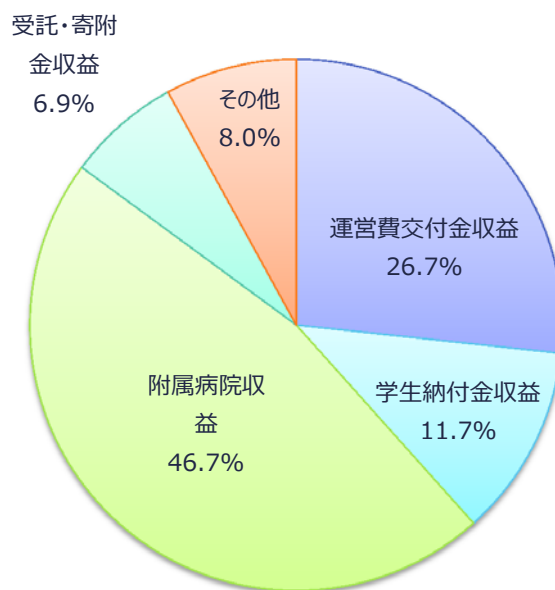
科 目	平成26年度	平成27年度	増減額
<b>経常収益</b>			
運営費交付金収益	17,752	18,208	456
学生納付金収益	7,950	7,973	23
附属病院収益	30,685	31,889	1,204
受託・寄附金収益	4,833	4,682	△ 151
その他	4,962	5,496	534
経常収益計	66,183	68,250	2,067
<b>臨時利益</b>			
	400	309	△ 91
<b>目的積立金取崩額</b>			
	0	22	22

※本学の平成27年4月1日～平成28年3月31日の損益計算書です。  
 ※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

### 経常費用の内訳



### 経常収益の内訳



### ●資源植物科学研究所植物科学研究棟が完成

平成27年6月に資源植物科学研究所(倉敷キャンパス)の植物科学研究棟が完成し、竣工式を開催しました。植物科学研究棟は旧管理棟(2階建て)を改築したもので、3階建て(延べ2,361平方メートル)にスケールアップ。同研究所が保有する最先端研究機器を集約配置して、植物育成室や共同研究スペース等を整備・充実させました。国内外の研究者を結ぶハブ的研究拠点としての機能強化が図られ、世界に卓越した研究の一層の推進が期待されています。



### ●図書館リニューアル 県産ヒノキ香る

平成27年4月に附属図書館をリニューアルオープンしました。本館2、3階の一部を改修し、岡山県産のヒノキや備前焼のタイルを使用した岡山らしさあふれる空間ができあがりました。

改修した2階北東部分は「サルトフロresta」(スペイン語で「飛翔の森」)と命名。県北のヒノキを用いて森をイメージし、ヒノキの香り漂う落ち着いた空間に仕上げました。また、時計塔の2階の「ヒヨセルーム」は壁面に備前焼タイルを使用したほか、備前焼作家で人間国宝の伊勢崎淳氏(本学教育学部特設美術科卒業)の作品を展示しています。

サルトフロrestaで早速勉強していた学生たちは「木の香りがする空間で一目惚れ。毎日通いたくなりますね」と話していました。



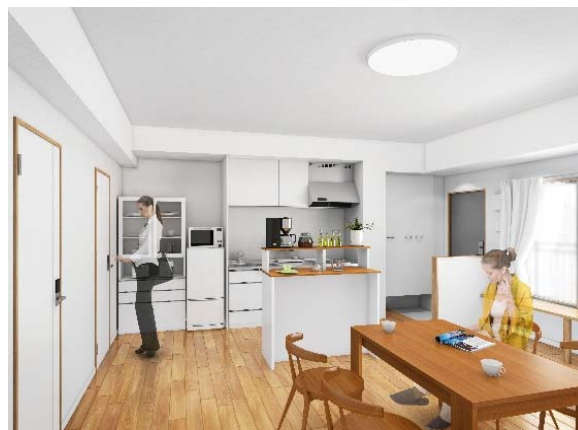
### ●岡山大学国際学生シェアハウスが完成



平成28年3月に「岡山大学国際学生シェアハウス」の竣工式を挙行了しました。

シェアハウスは、本学で学ぶ外国人留学生と日本人学生が共同生活を送り、日常生活を通じて異国の言語や文化、生活習慣に接することで、グローバルに活躍する人材を育てることを目的としています。鉄筋コンクリート造・地上5階建てのシェアハウスには、30ユニット(居室)、120人(留学生90人、日本人30人)の学生が入居することができます。ユニットには、各個人の私室を確保。4人が1つのユニットで生活し、入寮者同士が自然と交流できる仕様になっています。

グローバル・パートナーズでは、シェアハウスや既存の留学生宿舎を活用し、本学のグローバル化及びスーパーグローバル大学創成事業に掲げる学生派遣・受入目標数の達成に向けて、積極的な学生交流を推進していきます。



### ●世界初 脳死・生体肺同時の“ハイブリッド移植”に成功

平成27年4月4日に岡山大学病院では特発性間質性肺炎を患う男性への両肺移植手術で、左肺に脳死した人からの肺、右肺に生きている人の肺（右肺下部の「下葉」）を同時に移植する手術に成功しました。脳死・生体肺同時の“ハイブリッド移植”は、世界初です。

手術は同日、臓器移植医療センターの大藤剛宏教授を執刀医とするチームが担当。約10時間かけて、脳死ドナーから提供された肺と生体ドナーから提供された肺の一部を移植しました。



### ●国内最小体重での心臓手術に成功

平成27年10月30日に岡山大学病院は記者会見を開き、超未熟児として生まれ、先天性の重い心臓病「ファロー四徴症」の女兒に4月に手術を実施し、成功したと発表しました。

執刀した心臓血管外科の佐野俊二教授は、体重千グラム以下の赤ちゃんで高度な心臓手術に成功したのは国内初で、世界的にも例がないと説明しました。

佐野教授は会見で「小さな赤ちゃんでも手術ができる」と証明できた。小さいからといって諦めないでほしい」と話しました。



### ●「造血幹細胞移植医療体制事業実施施設」に認定



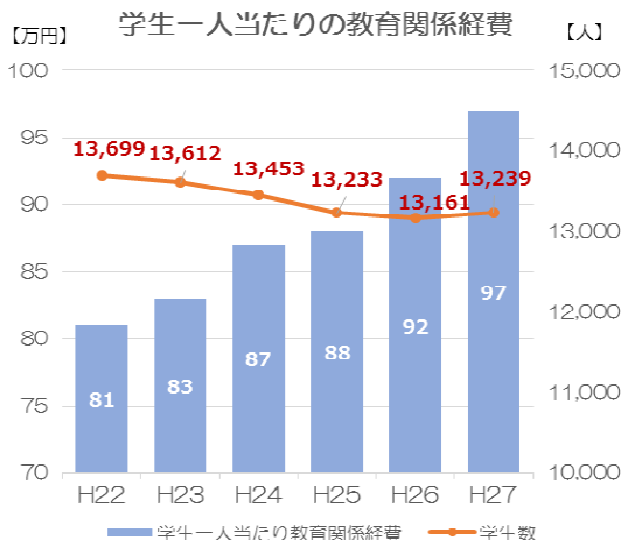
平成27年8月7日に岡山大学病院は厚生労働省の造血幹細胞移植医療体制事業を担う実施施設に認定されました。中国ブロックで唯一の「造血幹細胞移植医療体制事業実施施設」です。

造血幹細胞移植とは、白血病などの疾患に有効な治療法であり、疾患の種類などに応じて骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植のうち適切な治療を選択して行う治療法です。岡山大学病院はこれらの移植手術すべてを実施しており、年間の移植数は全国の国公立大学病院でも常に1、2を争う移植先進病院です。今回、これまでの実績や今後のビジョンが高く評価され、採択されました。



在学生・受験生及び保護者のみなさまへ

●教育関係経費



学生の教育に要した教育関係経費は、教育経費約32億3,500万円、(※)教育研究支援経費約4億4,300万円、及び教員人件費約92億4,900万円を合算した約129億2,800万円となっています。この額を学生1人当りに換算すると約97万円となります。

(※)教育と研究に区分することが困難であるため教育研究支援経費(約8億8,600万円)及び教員人件費(約184億9,900万円)についてはそれぞれ半分を教育関係経費としています。

**学生1人当たりの教育関係経費 97万円**

教育関係経費：129億2,800万円／学生数：13,239人  
(前年度：92万円)

※この教育関係経費には、財務諸表(損益計算書)の作成ルールにより、学生教育のために投入した経費であっても、その一部(50万円以上の教育用及び教育支援用設備(機器)の整備費)が含まれていません。

●入学料・授業料免除

本学では、入学料や授業料を免除する制度を設けています。平成27年度においては、授業料約6億4,700万円、入学料約1,200万円を免除しました。とりわけ、授業料免除額については、意欲と能力ある学生が経済的な理由により学業を断念することがないように、対前年度比約3,000万円増と拡充しています。授業料収益は約68億5,100万円となっており、授業料免除額は授業料収益の約9.4%に当たります。

**授業料免除額の割合 9.4%**

授業料免除額：6億4,700万円／授業料収益：68億5,100万円  
(前年度：9.1%)

●奨学生数

本学で取り扱っている奨学金には、日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体及び民間の奨学金があります。また、本学独自の奨学制度として「岡山大学大学院法務研究科の成績優秀学生奨学金」・「法科大学院奨学金」・「医歯薬学総合研究科ARTプログラム奨学金」等を設けています。

奨学生数 (単位：人)

奨学生数	日本学生支援機構		地方公共団体・民間	大学独自	計
	第一種	第二種			
学部学生	(1,952) 2,039	(2,013) 1,778	(111) 110	(41) 8	(4,117) 3,935
大学院生	(662) 636	(97) 73	(19) 18	(51) 54	(829) 781
計	(2,614) 2,675	(2,110) 1,851	(130) 128	(92) 62	(4,946) 4,716

※平成28年3月25日現在

( )は前年度の数字

本学の学部学生及び大学院生で奨学金の貸与・給付を受けている学生数は上表のとおりです。

●図書

本学の附属図書館は、県内最大の蔵書を有する図書館で、中央図書館・鹿田分館・資源植物科学研究所分館から構成されており、和漢書約139万8,000冊、洋書約69万1,000冊の合計約209万冊の図書を所蔵し、資産額として約77億400万円を計上しています。

**学生1人当たりの図書 58万円・158冊**

図書：77億400万円・209万冊／学生数：13,239人  
(前年度：59万円・160冊)

この額を学生1人当りに換算すると、約58万円で、約158冊となります。

大学病院をご利用のみなさまへ

●大学病院の財務状況

大学病院のセグメント情報

(単位：百万円)

区 分	26年度	27年度	増減額
教育・研究経費	705	695	△ 10
診療経費	19,698	20,255	557
受託研究・事業等	682	475	△ 207
人件費	13,726	14,314	588
一般管理費	199	214	15
財務費用	380	327	△ 53
雑損	1	12	11
業務費用（計）	35,393	36,296	903
運営費交付金収益	3,335	3,690	355
附属病院収益	30,685	31,889	1,204
受託研究・事業等収益	785	561	△ 224
寄附金収益	201	207	6
施設費・補助金収益	456	565	109
雑益	39	50	11
資産見返負債戻入	513	506	△ 7
業務収益（計）	36,016	37,471	1,455
業務損益	623	1,174	551

注）各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

大学病院セグメントの業務損益は約11億7,400万円と、前年度比約5億5,100万円増となっています。主な要因として、診療単価の上昇、手術件数の増加等により、附属病院収益が約12億400万円増の約318億8,900万円となったこと、重症患者の増加等により医薬品費が約9億200万円増となったことです。

患者数等に関するデータ（本院：医科系・歯科系）

区 分	26年度	27年度	増減
外来患者数 (人)	624,774	654,617	29,843
1日当外来患者数 (人)	2,560	2,694	134
入院患者数 (人)	270,262	265,198	△ 5,064
1日当入院患者数 (人)	740	725	△ 15
平均在院日数(医系) (日)	13.1	12.4	△ 0.7
〃 (歯科系) (日)	8.2	9.3	1.1
手術件数 (件)	9,622	10,072	450

手術件数については、平成25年度から総合診療棟(新中央診療棟 I 期)が本格稼働し、平成27年度では10,072件(前年度9,622件)と着実に増加しています。

診療経費比率 63.5%

診療経費：202億5,500万円 / 附属病院収益：318億8,900万円  
(前年度：64.2%)

診療経費比率は、附属病院収益に対する診療経費の比率です。病院の収益性を判断する指標で、一般的にこの比率は低い方が望ましいものです。

長期借入金返済比率 6.8%

長期借入金返済額：21億5,900万円 / 附属病院収入：315億3,500万円  
(前年度：7.3%)

長期借入金返済比率は、附属病院収入に対する国立大学財務・経営センターからの借入金の返済額の比率です。病院の健全性を判断する指標で、一般的にこの比率は低い方が望ましいものです。

企業等のみなさまへ

●外部資金の受入状況等

平成27年度の外部資金の受入額は右表のとおりです。受託研究等の受入額の内訳は、以下となっています。

受託研究	： 国	102 百万円
	地方公共団体	129 百万円
	その他の主体	2,003 百万円
共同研究	： その他の主体	362 百万円
受託事業	： 国	48 百万円
	地方公共団体	223 百万円
	その他の主体	271 百万円

●特許

平成27年度の特許出願件数は、国内出願が72件、外国出願が44件となっています。特許取得件数は、国内での取得が54件、外国での取得が31件、技術移転等に伴う知財収入は約2,897万円となっています。

※知財収入は、過去に締結した実施許諾契約等による収入、その他の知財収入を含みます。

●寄附講座

寄附講座とは、奨学を目的とする民間等からの寄附を有効に活用し設置運営することによって、本学における教育研究の進展及び充実に資することを目的として、原則として2年以上5年以下の期間で設置されるものです。

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	運動器医療材料開発講座	平成19年4月1日～平成30年3月31日	運動器医療材料の開発や研究を行い、運動器医療の発展に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	糖尿病性腎症治療学講座	平成20年10月1日～平成28年9月30日	糖尿病性腎症の成因解明と糖尿病性腎症に対する診療並びに教育を推進するため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療学講座 (岡山市寄付講座)	平成22年4月1日～平成29年3月31日	岡山地域における救急医療に関する研究と人材養成を行い、最適な地域医療体制の構築に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	先端循環器治療学講座	平成22年4月1日～平成31年3月31日	高度最先端循環器内科治療を地域のために普及させるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療人材育成講座	平成22年5月1日～平成29年3月31日	将来の岡山県の地域医療を担う人材育成に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及を行い、県民の健康・福祉の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器知能化システム開発 (ナカシマメディカル) 講座	平成22年9月1日～平成30年3月31日	「アラッドパイス」の高機能化および「コンピュータカノピー」を応用した手術支援システムによる運動器の再構築を目指し、その基礎研究結果を早期に臨床応用するため
大学院医歯薬学総合研究科	CKD(慢性腎臓病)・CVD地域連携・心血管病態解析学講座	平成23年11月1日～平成28年10月31日	CVD(心血管疾患)の専門家である循環器内科との密接な協力によりCKD(慢性腎臓病)診療の発展と末期腎不全患者数増加の抑制、心血管疾患合併の予防に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	小児急性疾患学講座	平成25年4月1日～平成30年3月31日	福山・府中圏域における小児救急医療に関わる医師の育成及び効果的な医療提供体制に関する研究を行い、将来に亘り持続可能な小児救急医療体制の構築に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	高齢社会医療・介護機器研究推進講座	平成25年7月1日～平成28年6月30日	在宅医療・遠隔医療を可能とする機器及び医療システムの研究開発、並びに高齢化対策医療教育を通じて、地域医療や高齢社会医療に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	救急外傷治療学講座	平成26年11月1日～平成28年10月31日	外傷診療や災害時の外傷の諸課題に対応するために外傷診療システムの構築と外傷診療に精通した人材の教育・養成を行い、最適な外傷の救急医療体制の構築に貢献するため
大学院教育学研究科	国吉康雄を中心とした美術鑑賞教育研究講座	平成27年10月1日～平成30年3月31日	地域の芸術・文化資源を活かした美術鑑賞手法の開発と実践教育、国吉康雄の作品及び画業と生き方の研究と顕彰、地域コミュニティと地域文化の発展に寄与する人材の育成のため
大学院医歯薬学総合研究科	医療資源開発・学習支援環境デザイン学講座	平成27年11月1日～平成30年10月31日	医療における教育現場と医療現場及び医療人材とその他の医療資源を革新的な学習法の研究・開発によってシームレスに繋ぐことで、より安心・安全な医療の提供を広く可能にするため
大学院医歯薬学総合研究科	陽子線治療学講座	平成27年12月1日～平成30年11月30日	陽子線治療の管理手法や治療成績を明らかにして癌治療成績の向上に寄与していくとともに、陽子線治療の認知・普及、人材育成、研究を進展させるため
大学院医歯薬学総合研究科	三朝地域医療支援寄付講座	平成28年1月1日～平成30年12月31日	三朝地域の医療機関における医療の質を維持・向上させ、最適な地域医療提供体制の整備・確立に寄与するとともに、地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムを開発するため
大学院医歯薬学総合研究科	血液浄化療法人材育成システム開発学講座	平成28年1月1日～平成30年12月31日	腎不全に対する治療法、特に血液透析を主体とする血液浄化療法に関する人材育成システムの開発について教育・研究を推進するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器外傷学講座	平成28年4月1日～平成32年3月31日	骨折疾患に対する多角的な現状調査、実際の治療を通じて新規治療法の研究開発、骨折に対する若手医師や指導医などへの教育を行うため

外部資金受入状況

(単位：百万円)

区 分	26年度	27年度	増減
受託研究	2,034	2,234	200
共同研究	381	363	△18
受託事業	540	543	3
寄付金	1,641	1,797	156
合 計	4,599	4,939	340

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

特許出願・取得数

(単位：件)

区 分	26年度	27年度	増減
特許出願 (国内)	64	72	8
〃 (外国：PCT出願)	18	22	4
〃 (外国：EPC出願)	7	4	△3
〃 (外国：指定国出願)	25	18	△7
特許取得 (国内)	66	54	△12
〃 (外国)	36	31	△5

技術移転等

区 分	26年度	27年度	増減
新規契約件数	9	28	19
知財収入(単位：千円)	12,073	28,978	16,905

●知的財産活動の状況

本学は、研究成果をもって広く産業界や社会に貢献することを知的財産活動の基本方針に掲げています。貢献を最大化するため、大学が基本特許を確保し、海外を含めた複数の産業分野にて活用頂くことを戦略的に実施しています。この活動を評価する指標を独自に定めていますので紹介します。

図1は平成16年度以降、本学での発明届の提出と権利化の状況です。これまでに1,163件の発明届を受理し、919件の国内出願を行い453件を国内権利化し161件の海外権利化を完了しました。

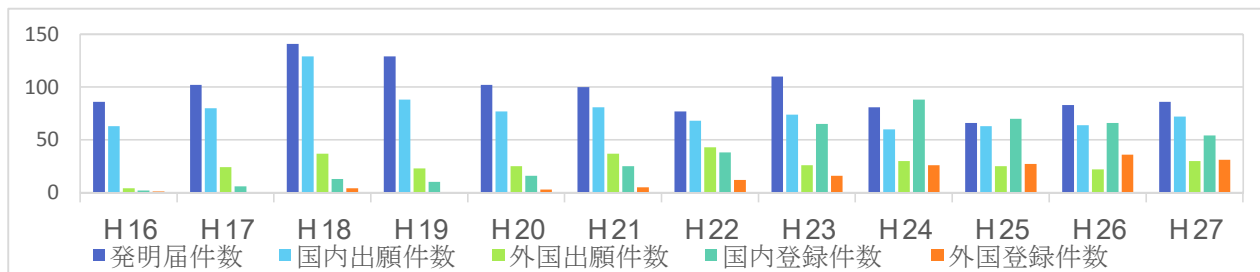


図1 平成16年度以降の特許出願と権利化状況の推移

本学から生まれる特許には基本特許が多いという特徴があります。このため出願時の特許内容は、産業界が求めるニーズに合致することは稀で、出願から数年が経過して特許の持つ産業的価値が理解される傾向にあります。是非とも本学の既存特許を、再度、産業界の眼で眺め直して頂き、時流に合った技術として活用して頂ければと思います。

●知的財産活動の傾向を把握するための指標について

次に、岡山大学の知的財産活動の年度推移を紹介します。知的財産活動の成果は権利化と技術移転の2つで評価する必要があります。また、権利化活動は国内登録件数と外国登録件数の2つを考慮する必要があります。技術移転は特許の実施許諾収入や譲渡収入、それに技術(ノウハウ)指導などによる収入金額で評価できます。これら数値の年度変化を表1に示します。

ここでは国内登録件数、外国登録件数、収入の各数字が持つ効力を平均化する目的で、次の様に重み付けした後に各数字を乗じて総合指数としました。この総合指標の年度変化を見ることで、岡山大学の知的財産活動の推移と傾向を把握できます。

重み付け換算は、国内登録件数は5件で1ポイント、外国登録件数は2件で1ポイント(但し0件は1ポイントとします)、収入は5百万円で1ポイントとしました。

各ポイントを乗じて各年度の総合指標とした際の変化を図2に示します。図から岡山大学の知的財産活動は平成22年度より加速され、平成26年度に一度落ち込みますが、ほぼ右肩上がり推移していることが判ります。国内登録件数はここ数年減少して一定規模に落ち着く傾向ですので、総合指標の変化は外国登録件数の増加と収入増がもたらしていると言えます。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
国内登録件数	2	6	13	10	16	25	38	65	88	70	66	54
外国登録件数	1	0	4	0	3	5	12	16	26	27	36	31
収入(百万円)	1.6	7.4	10	13.7	11.5	13.5	16.1	15.1	17	20	12	29

表1 年度毎の知的財産活動成果

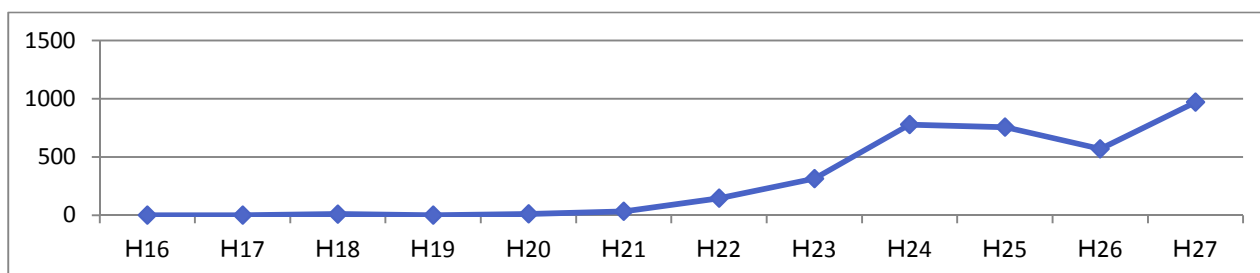


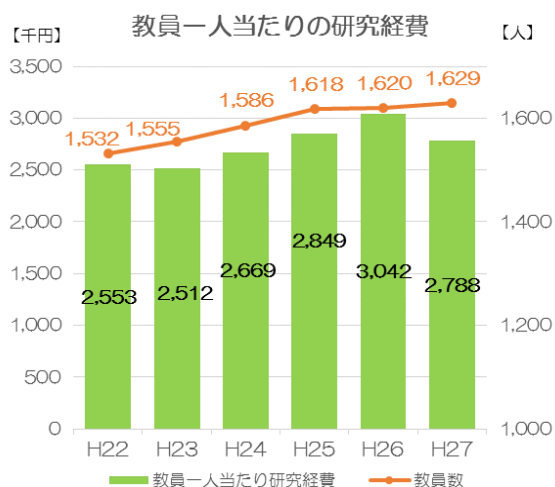
図2 知的財産活動 総合指標の年度変化

## 教職員のみなさまへ

### ●研究経費

運営費交付金・寄附金・自己収入等（補助金等の競争的資金を含む。ただし、受託研究・共同研究・受託事業及び科学研究費補助金等は除く。）を財源とする研究経費は、総額で約45億4,200万円です。研究経費の中には消耗品や備品（50万円未満）の購入費、旅費・交通費、水道光熱費及び減価償却費等が含まれています。

教員1人当たりに換算すると約278万円となります。



### ●教育研究支援経費

教育研究支援経費とは、附属図書館や情報統括センター等の運営に要する経費で、総額は約8億8,600万円です。

教員1人当たりに換算すると約54万円となります。

### ●受託研究・受託事業費

本学の受託研究費（共同研究費含む）は約21億1,400万円、及び受託事業費は約5億300万円、合計で約26億1,800万円です。この経費には、消耗品・人件費・減価償却費等が含まれています。

教員1人当たりに換算すると約160万円となります。

### ●科学研究費補助金等

本学の科学研究費補助金等の受入額は、約22億2,400万円(直接経費:約17億2,800万円/間接経費:約4億9,500万円、対前年度比約3億3,800万円減)です。

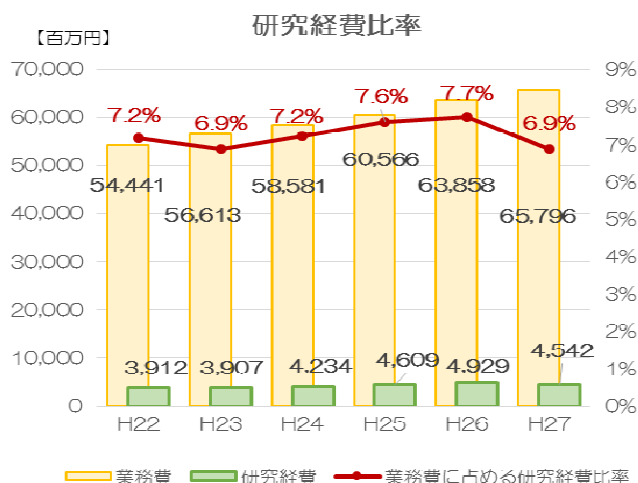
直接経費について教員1人当たりに換算すると約106万円となります。

### 教員1人当たりの研究経費 278万円

研究経費：45億4,200万円／教員数：1,629人

(前年度：304万円)

※この研究経費には、財務諸表(損益計算書)の作成ルールにより、50万円以上の研究用設備(機器)の整備費は含まれていません。



### 教員1人当たりの教育研究支援経費 54万円

教育研究支援経費：8億8,600万円／教員数：1,629人

(前年度：68万円)

※この教育研究支援経費には、財務諸表(損益計算書)の作成ルールにより、50万円以上の教育研究支援用設備(機器)の整備費は含まれていません。

### 教員1人当たりの受託研究費等 160万円

受託研究費等：26億1,800万円／教員数：1,629人

(前年度：162万円)

### 教員1人当たりの科学研究費等 106万円

科学研究費等(直接経費):17億2,800万円／教員数:1,629人

(前年度：123万円)

## ●人件費

本年度の業務費における人件費は約342億5,800万円で、前年度と比較すると約16億8,100万円増加しています。主な要因としては、年俸制の導入、退職手当の増及び在籍者の増等により増加しています。

教育・研究活動を使命とする大学の性質上、人件費の比率が高くなることは避けられませんが、教育・研究・診療等の質を維持しつつ、人件費の抑制を図ることが継続的な課題となっています。

人件費の内訳 (単位：百万円)

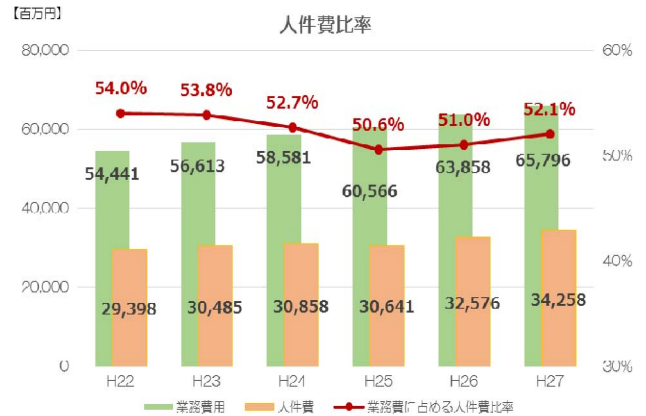
区分	26年度	27年度	増減額	
報酬及び給与等	常勤	27,671	28,858	1,187
	非常勤	3,527	3,760	233
退職給付計	1,377	1,639	262	
合計	32,576	34,258	1,681	

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

人件費比率は、業務費に対する人件費の比率です。この比率が低いほど教育・研究等に直接要する財源が確保されていることになります。

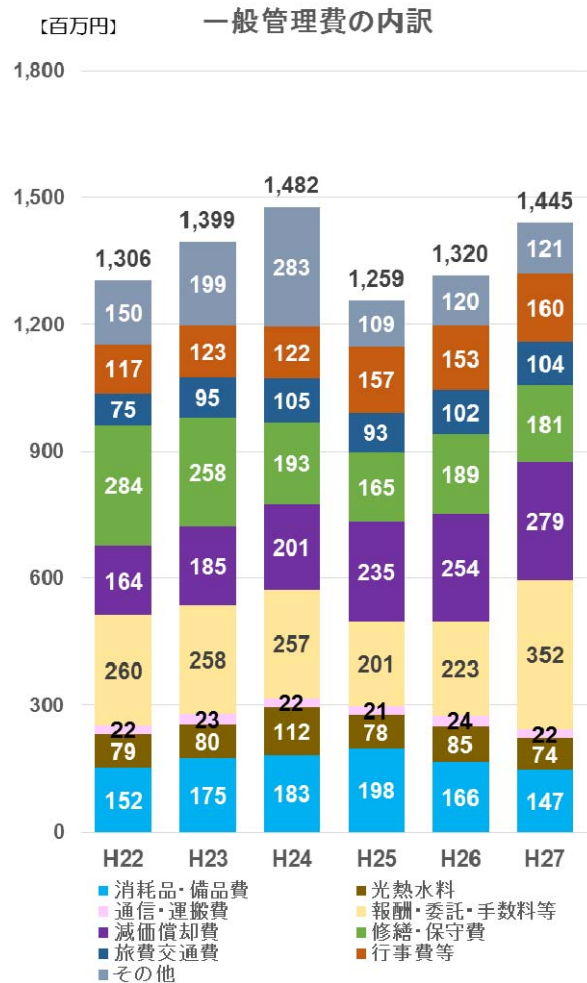
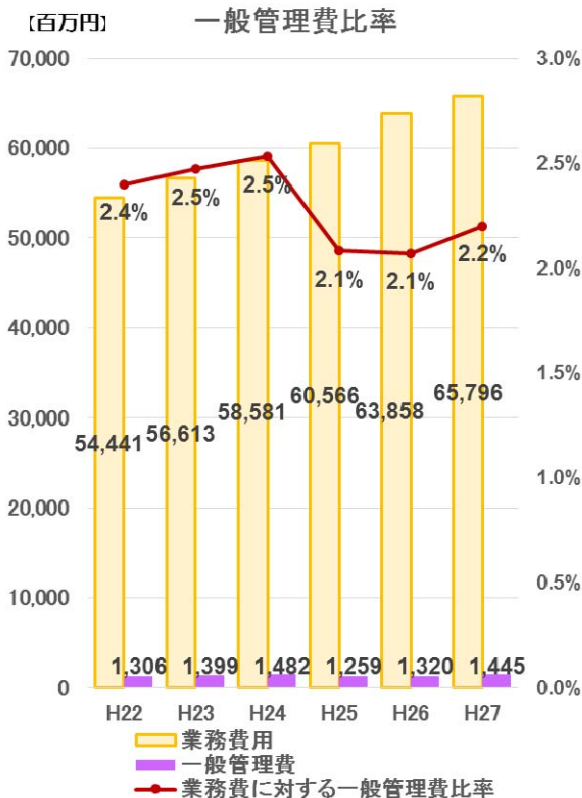
**人件費比率 52.1%**

人件費：342億5,800万円／業務費：657億9,600万円  
(前年度：51.0%)



## ●一般管理費比率

一般管理費比率は、業務費に対する一般管理費の比率です。この比率が低いほど管理運営上の効率性が高く、教育・研究等に直接要する財源が確保されていることになります。



【貸借対照表】

資産の部		(単位：百万円)		
科 目	26年度	27年度	増 減	
<b>固定資産</b>				
有形固定資産				
土地	52,050	52,050	0	
建物	47,732	46,202	△ 1,530	※1
構築物	2,549	2,439	△ 110	
機械装置	69	63	△ 6	
工具器具備品	12,612	10,565	△ 2,047	※2
図書	7,733	7,704	△ 29	
美術品・收藏品	123	124	1	
船舶	9	6	△ 3	
車両運搬具	10	11	1	
研究用放射性同位元素	-	0	0	
建設仮勘定	1,489	3,200	1,711	※3
無形固定資産				
特許権	218	252	34	
商標権	1	1	0	
電話加入権	1	1	0	
ソフトウェア	47	152	105	
特許権仮勘定	247	207	△ 40	
その他	26	23	△ 3	
投資その他の資産				
投資有価証券	1,112	1,312	200	
長期貸付金	141	105	△ 36	
長期延滞債権	10	16	6	
長期前払費用	1	0	△ 1	
敷金	4	3	△ 1	
長期性預金	100	-	△ 100	
<b>流動資産</b>				
現金及び預金	5,909	9,077	3,168	※4
未収学生納付金収入	53	56	3	
未収附属病院収入	5,232	5,523	291	
未収入金	845	761	△ 84	
短期貸付金	9	25	16	
有価証券	2,000	1,100	△ 900	※5
たな卸資産	3	2	△ 1	
医薬品及び診療材料	237	221	△ 16	
前払費用	17	18	1	
未収消費税等	17	-	△ 17	
未収収益	4	4	0	
その他	10	10	0	
<b>資産合計</b>	<b>140,635</b>	<b>141,247</b>	<b>612</b>	

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

注) 数字がないときは「-」、単位未満の時は「0」で表示しています。

- ※1 建物は、減価償却が進んだことにより減少しています。
- ※2 工具器具備品は、減価償却が進んだことにより減少しています。
- ※3 建設仮勘定は、岡山大学病院の建物新営工事等により増加しています。
- ※4 現金及び預金は、未払金の増及び有価証券の満期償還等により増加しています。
- ※5 有価証券は、満期償還等により減少しています。

## 【貸借対照表】

負債の部		(単位：百万円)		
科 目	26年度	27年度	増 減	
<b>固定負債</b>				
資産見返負債	17,343	16,105	△ 1,238	※1
国立大学財務・経営センター債務負担金	7,296	6,325	△ 971	※2
長期借入金	14,819	16,435	1,616	※3
引当金				
退職給付引当金	247	257	10	
長期未払金	3,123	2,701	△ 422	※4
資産除去債務	112	113	1	
<b>流動負債</b>				
運営費交付金債務	473	—	△ 473	※5
寄附金債務	4,060	4,220	160	
前受受託研究費等	684	808	124	
前受受託事業費等	5	3	△ 2	
預り金	529	575	46	
一年以内返済予定国立大学財務・経営センター債務負担金	997	971	△ 26	
一年以内返済予定長期借入金	1,161	1,145	△ 16	
未払金	6,227	7,809	1,582	※6
前受収益	0	0	0	
未払費用	25	62	37	
未払消費税等	—	23	23	
賞与引当金	395	419	24	
一年以内履行見込資産除去債務	0	—	0	
<b>負債合計</b>	<b>57,505</b>	<b>57,977</b>	<b>472</b>	

純資産の部		(単位：百万円)		
科 目	26年度	27年度	増 減	
<b>資本金</b>				
政府出資金	69,804	69,804	0	
<b>資本剰余金</b>				
資本剰余金	31,285	33,249	1,964	※7
損益外減価償却累計額 (△)	△ 23,410	△ 25,918	△ 2,508	※8
損益外減損損失累計額 (△)	△ 44	△ 54	△ 10	
損益外利息費用累計額 (△)	△ 5	△ 6	△ 1	
<b>利益剰余金</b>				
前中期目標期間繰越積立金	3,138	3,138	0	
積立金	1,781	2,185	404	
当期末処分利益	579	870	291	
<b>純資産合計</b>	<b>83,129</b>	<b>83,269</b>	<b>140</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>140,635</b>	<b>141,247</b>	<b>612</b>	

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

注) 数字がないときは「-」、単位未満の時は「0」で表示しています。

- ※1 資産見返負債は、減価償却が進んだことにより減少しています。
- ※2 国立大学財務・経営センター債務負担金は、負担金の支払いにより減少しています。
- ※3 長期借入金は、中央診療棟Ⅱ期等に係る新規借入により増加しています。
- ※4 長期未払金は、リース・割賦契約の新規大型契約がなく、既存分の支払が進んだことにより減少しています。
- ※5 運営費交付金債務は、中期目標期間の最終年度のため、全額収益化しています。
- ※6 未払金は、中央診療棟Ⅱ期、基幹・環境整備等の工事費が未払いにより増加しています。
- ※7 資本剰余金は、施設整備費補助金及び目的積立金により資産を取得したため増加しています。
- ※8 損益外減価償却累計額は、減価償却費が進んだことにより増加しています。



## 【損益計算書】

(単位：百万円)

科 目	26年度	27年度	増 減	
<b>経常費用</b>				
業務費				
教育経費	2,899	3,235	336	※1
研究経費	4,929	4,542	△ 387	※2
診療経費	19,698	20,255	557	※3
教育研究支援経費	1,114	886	△ 228	
受託研究費	2,139	2,114	△ 25	
受託事業費	500	503	3	
役員人件費	153	158	5	
教員人件費	17,561	18,499	938	※4
職員人件費	14,861	15,600	739	※4
一般管理費	1,320	1,445	125	
財務費用	393	338	△ 55	
雑損	8	31	23	
<b>経常費用合計</b>	<b>65,581</b>	<b>67,611</b>	<b>2,030</b>	
<b>経常収益</b>				
運営費交付金収益	17,752	18,208	456	※5
授業料収益	6,816	6,851	35	
入学金収益	963	961	△ 2	
検定料収益	170	159	△ 11	
附属病院収益	30,685	31,889	1,204	※6
施設費収益	172	174	2	
補助金等収益	1,333	1,967	634	※7
寄附金収益	1,773	1,663	△ 110	
受託研究等収益	2,521	2,474	△ 47	
受託事業等収益	538	545	7	
財務収益	39	41	2	
雑益	1,102	1,279	177	
資産見返負債戻入	2,314	2,033	△ 281	
<b>経常収益合計</b>	<b>66,183</b>	<b>68,250</b>	<b>2,067</b>	
<b>経常利益</b>	<b>602</b>	<b>638</b>	<b>36</b>	
<b>臨時損失</b>				
固定資産除却損	38	90	52	
減損損失	2	—	△ 2	
過年度診療報酬返還損	1	—	△ 1	
P C B処理損失	381	—	△ 381	
固定資産売却損	—	9	9	
<b>臨時損失合計</b>	<b>424</b>	<b>99</b>	<b>△ 325</b>	
<b>臨時利益</b>				
資産見返負債戻入	18	18	0	
固定資産売却益	—	1	1	
運営費交付金収益	381	—	△ 381	
精算運営費交付金収益	—	289	289	※8
<b>臨時利益合計</b>	<b>400</b>	<b>309</b>	<b>△ 91</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>578</b>	<b>847</b>	<b>269</b>	
<b>目的積立金取崩額</b>	<b>0</b>	<b>22</b>	<b>22</b>	
<b>当期総利益</b>	<b>579</b>	<b>870</b>	<b>291</b>	

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

注) 数字がないときは「-」、単位未満の時は「0」で表示しています。

- ※1 教育経費は、国立大学改革強化推進補助金などの補助金等の執行増の影響により増加しています。
- ※2 研究経費は、特許権仮勘定の整理の終了等により減少しています。
- ※3 診療経費は、附属病院収益の増加に伴い、医薬品費等の増により増加しています。
- ※4 教員人件費及び職員人件費は、年俸制の導入、退職手当の増及び在籍者の増等により増加しています。
- ※5 運営費交付金収益は、退職手当の増及び年俸制の導入等により増加しています。
- ※6 附属病院収益は、診療単価の上昇、手術件数等の増により増加しています。
- ※7 補助金収益は、国立大学改革強化推進補助金などの受入増により増加しています。
- ※8 精算運営費交付金収益は、中期目標期間の最終年度のため計上しています。

## 【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

科 目	26年度	27年度	増 減	
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 23,243	△ 24,178	△ 935	
人件費支出	△ 33,177	△ 34,479	△ 1,302	※1
その他の業務支出	△ 1,081	△ 1,148	△ 67	
運営費交付金収入	18,874	18,374	△ 500	
授業料収入	6,107	6,104	△ 3	
入学金収入	950	944	△ 6	
検定料収入	170	159	△ 11	
附属病院収入	30,207	31,535	1,328	※2
受託研究等収入	2,331	2,419	88	
受託事業等収入	488	511	23	
補助金等収入	2,122	2,735	613	
寄附金収入	1,641	1,797	156	
科学研究費補助金等預り金純増減	22	13	△ 9	
奨学金貸付金純増減	△ 25	21	46	
その他	693	1,174	481	
業務活動によるキャッシュ・フロー 計	6,082	5,985	△ 97	
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
長期性預金の払戻による収入	-	100	100	
定期預金の預入による支出	△ 54,200	△ 24,300	29,900	
定期預金の払戻による収入	54,400	26,000	△ 28,400	
共同運用での定期預金の預入による支出	△ 9,100	△ 11,900	△ 2,800	
共同運用での定期預金の払戻による収入	9,100	11,900	2,800	
共同運用の返還による支出	△ 6,300	△ 7,600	△ 1,300	※3
共同運用の受入による収入	6,300	7,600	1,300	※4
有価証券の取得による支出	△ 9,100	△ 24,701	△ 15,601	
有価証券の償還による収入	7,000	25,400	18,400	
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 7,490	△ 5,397	2,093	
有形固定資産及び無形固定資産の取得による収入	-	2	2	
施設費による収入	2,771	2,120	△ 651	
小 計	△ 6,619	△ 776	5,843	
利息及び配当金の受取額	46	42	△ 4	
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 6,572	△ 733	5,839	
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出	△ 1,025	△ 997	28	
長期借入による収入	721	2,761	2,040	
長期借入金の返済による支出	△ 1,190	△ 1,161	29	
リース債務の返済による支出	△ 579	△ 644	△ 65	
小 計	△ 2,074	△ 41	2,033	
利息の支払額	△ 394	△ 342	52	
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 2,469	△ 384	2,085	
<b>IV 資金に係る換算差額</b>	1	0	△ 1	
<b>V 資金増減額</b>	△ 2,958	4,867	7,825	
<b>VI 資金期首残高</b>	7,067	4,109	△ 2,958	
<b>VII 資金期末残高</b>	4,109	8,977	4,868	

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

注) 数字がないときは「-」、単位未満の時は「0」で表示しています。

※1 人件費支出は、年俸制の導入、退職手当の増及び在籍者の増等の影響により増加しています。

※2 附属病院収入は、診療単価の上昇、手術件数等の増により増加しています。

※3 共同運用の返還による支出は、共同運用を行っている他大学（鳥取、島根、広島、山口）へ資金を返還したものです。

※4 共同運用の受入による収入は、共同運用を行っている他大学（鳥取、島根、広島、山口）から資金を受け入れたものです。

【国立大学法人等業務実施コスト計算書】

(単位：百万円)

科 目	26年度	27年度	増 減
I 業務費用			
(1)損益計算書上の費用	66,005	67,711	1,706
業務費	63,858	65,796	1,938
一般管理費	1,320	1,445	125
財務費用	393	338	△ 55
雑損	8	31	23
臨時損失	424	99	△ 325
(2)(控除)自己収入等	△ 44,617	△ 45,952	△ 1,335
授業料収益	△ 6,816	△ 6,851	△ 35
入学金収益	△ 963	△ 961	2
検定料収益	△ 170	△ 159	11
附属病院収益	△ 30,685	△ 31,889	△ 1,204
受託研究等収益	△ 2,521	△ 2,474	47
受託事業等収益	△ 538	△ 545	△ 7
寄附金収益	△ 1,773	△ 1,663	110
財務収益	△ 39	△ 41	△ 2
雑益(研究関連収入を除く)	△ 533	△ 779	△ 246
資産見返寄附金戻入	△ 563	△ 579	△ 16
建設仮勘定等見返寄附金戻入	△ 3	0	3
臨時利益	△ 8	△ 7	1
業務費用合計	21,387	21,758	371
II 損益外減価償却相当額	2,842	2,867	25
III 損益外減損損失相当額	-	9	9
IV 損益外利息費用相当額	0	0	0
V 損益外除売却差額相当額	27	141	114
VI 引当外賞与増加見積額	268	70	△ 198
VII 引当外退職給付増加見積額	△ 459	836	1,295
VIII 機会費用	390	45	△ 345
国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された 使用料による貸借取引の機会費用	92	45	△ 47
政府出資の機会費用	297	-	△ 297
IX 国立大学法人等業務実施コスト	24,458	25,731	1,273

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

注) 数字がないときは「-」、単位未満の時は「0」で表示しています。

国立大学法人等業務実施コスト計算書は、納税者である国民が国立大学法人の業務に対する評価、判断に資するため、一会計期間に属する国立大学法人の業務運営に関し、国立大学法人業務実施コストに係る情報を一元的に集約し表示しています。

本学の業務実施コスト（国民の皆様には負担いただいているコスト）は約257億円となっており、国民1人当たり換算すると約202円（前年度192円(+10円)）となります。

（人口は平成27年11月1日現在 1億2,711万1千人 総務省統計局）

## 【決算報告書】

(単位：百万円)

区 分	26年度			27年度		
	予算額	決算額	差 額	予算額	決算額	差 額
<b>収入</b>						
運営費交付金	18,556	18,913	357	18,172	18,841	669
施設整備費補助金	3,903	2,693	△ 1,210	2,097	2,041	△ 55
船舶建造費補助金	—	—	—	—	—	—
補助金等収入	1,216	1,870	654	1,654	2,397	743
国立大学財務・経営センター施設費交付金	79	79	0	79	79	0
自己収入	36,452	38,041	1,589	38,253	39,566	1,313
授業料、入学期及び検定料収入	7,351	7,228	△ 123	7,335	7,209	△ 125
附属病院収入	28,587	30,208	1,621	30,415	31,535	1,120
財産処分収入	—	0	0	—	2	2
雑収入	514	605	91	503	819	316
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,216	5,046	830	4,544	5,237	693
引当金取崩	400	416	16	360	470	110
長期借入金収入	1,537	721	△ 816	3,104	2,761	△ 342
貸付回収金	7	8	1	7	14	7
目的積立金取崩	—	35	35	—	175	175
収入計	66,366	67,822	1,456	68,270	71,585	3,315
<b>支出</b>						
業務費	52,891	53,678	787	54,255	55,155	900
教育研究経費	24,212	23,207	△ 1,005	23,217	23,700	483
診療経費	28,679	30,471	1,792	31,038	31,454	416
施設整備費	5,519	3,493	△ 2,026	5,280	4,882	△ 397
船舶建造費	—	—	—	—	—	—
補助金等	1,216	1,870	654	1,654	2,397	743
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,217	5,518	1,301	4,547	5,203	656
貸付金	32	34	2	34	22	△ 11
長期借入金償還金	2,491	2,553	62	2,500	2,455	△ 44
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	—	—	—
支出計	66,366	67,146	780	68,270	70,116	1,846
<b>収入－支出</b>	<b>0</b>	<b>676</b>	<b>676</b>	<b>0</b>	<b>1,468</b>	<b>1,468</b>

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

注) 数字がないときは「－」、単位未満の時は「0」で表示しています。

決算報告書は予算の区分で作成し、予算計画と対比して執行状況を表すことにより大学の運営状況を報告するものです。

国の現金主義を基礎としつつ一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

財務諸表の連携図

(単位：百万円)

貸借対照表

【期末日の財政状態】

資産	負債
141,247	57,977
	純資産
	83,269
現金及び預金 (内数)	未処分利益(内数)
9,077	870

損益計算書

【会計期間の運営状況】

経常費用	自己収入等に基づく収益 (内数)
67,611	45,952
臨時損失	経常収益
99	68,250
当期総利益	臨時利益
870	309
	22

国立大学法人等  
業務実施コスト計算書

【国民負担に帰せられるコスト】

費用	自己収入等に基づく収益
67,711	45,952
	国立大学法人等 業務実施コスト
	25,731
3,972	

キャッシュ・フロー計算書

【会計期間の活動区分別資金の流れ】

支出	収入
136,851	145,828
期末残高 (定期預金除く)	
8,977	

利益の処分に関する書類

【未処分利益の処分内容】

利益処分数額	4,008
(内訳)	
当期総利益	870
前中期目標期間 繰越積立金	3,138

- 損益外減価償却相当額
- 損益外減損損失相当額
- 損益外利息費用相当額
- 損益外除売却差額相当額
- 引当外賞与増加見積額
- 引当外退職給付増加見積額
- 機会費用

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

# 学部等位置図



【岡山市内図】

〒700-8530  
岡山市北区津島中一丁目1番1号

国立大学法人 岡山大学